

しもくほ  
下久保ダムフラッシュ放流の実施  
かながわ  
～神流川の環境改善のために～

独立行政法人水資源機構下久保ダム管理所では、ダム下流の河川環境の改善を目的とした「フラッシュ放流」を以下のとおり実施します。

実施日時：令和元年9月10日（火）午前9時～午後12時50分

フラッシュ放流は、ダムから流す水の量を一時的に増やす（最大毎秒約70立方メートル）ことにより、ダム下流河川（三波石峡など）の付着藻類の剥離や河床の回復など、生物の生息環境や景観を改善するための取り組みです。

今回のフラッシュ放流により、ダム下流の神流川では、ところによって水位が最大2.5m程度、徐々に上昇しますので注意してください。なお、フラッシュ放流時には、警報（サイレンとスピーカー放送）を鳴らします。

※取材をされる方は、午前10時30分以降に三波石峡駐車場までお越し下さい。

※ご希望があれば、写真を提供いたします。



令和元年9月6日

独立行政法人水資源機構

下久保ダム管理所

配布先

熊谷記者クラブ

藤岡記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 下久保ダム管理所

所長代理（総務） 島田

住所 埼玉県児玉郡神川町大字矢納1356-3

電話 0274-52-2746

## 下久保ダムフラッシュ放流について

### 1. フラッシュ放流とは

フラッシュ放流とは、ダム下流の河川環境の改善を目的として、洪水調節に支障を及ぼさない範囲で、洪水調節容量の一部に流水を貯留し（弾力的管理試験）、これを利用してダムから流す水の量を一時的に増やす放流です。

これまで、平成20年、平成22年、平成23年、平成24年及び平成26年に実施しています。

### 2. 実施日時

令和元年9月10日（火） 午前9時～午後12時50分（予定）

※なお、前日まで及び当日の河川流量や降雨状況などによっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。

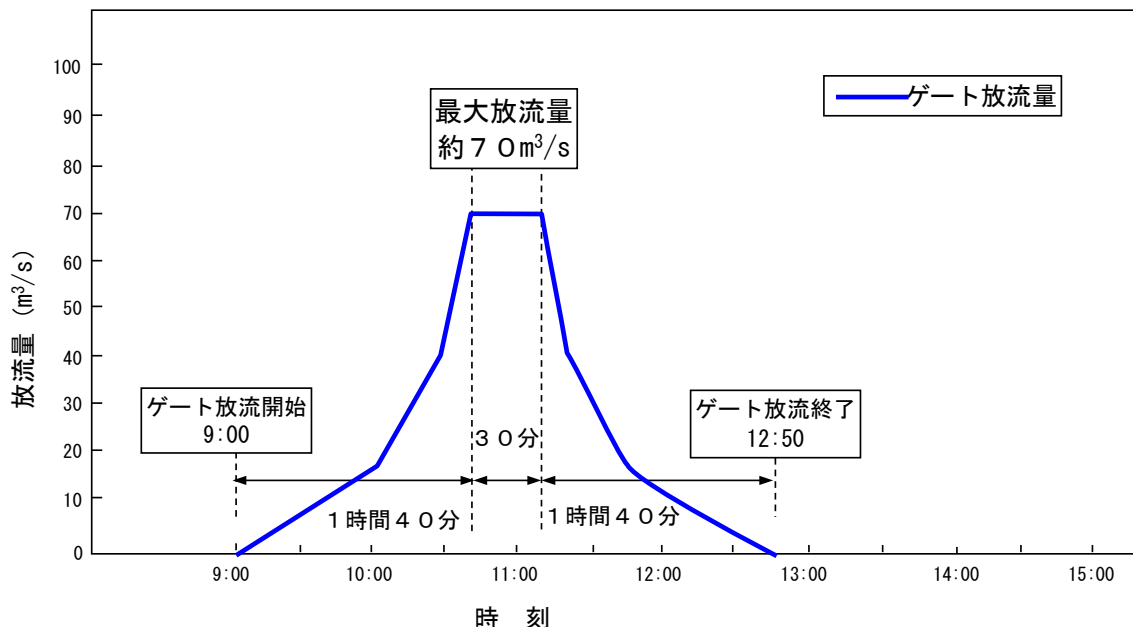
### 3. フラッシュ放流により期待される効果

フラッシュ放流では、生物の生息環境や景観の改善のため、あらかじめダム下流に置いた土砂（砂や砂利）を流すことにより、付着藻類の剥離、河床の回復、河岸植生の回復、三波石峡の洗浄などの効果を期待しています。

### 4. フラッシュ放流の概要

- ・ダムから流す水の量：最大で毎秒約70立方メートル
- ・最大の水を流す継続時間：約30分

下久保ダムにおけるフラッシュ放流操作（予定）



午前9時から午前10時40分にかけて放流量を最大毎秒約70m<sup>3</sup>まで徐々に増やし、その後最大毎秒約70m<sup>3</sup>の放流を午前11時10分頃まで継続した後、約2時間かけて放流量を減らします。（放流量や継続時刻の予定を変更する場合があります。）

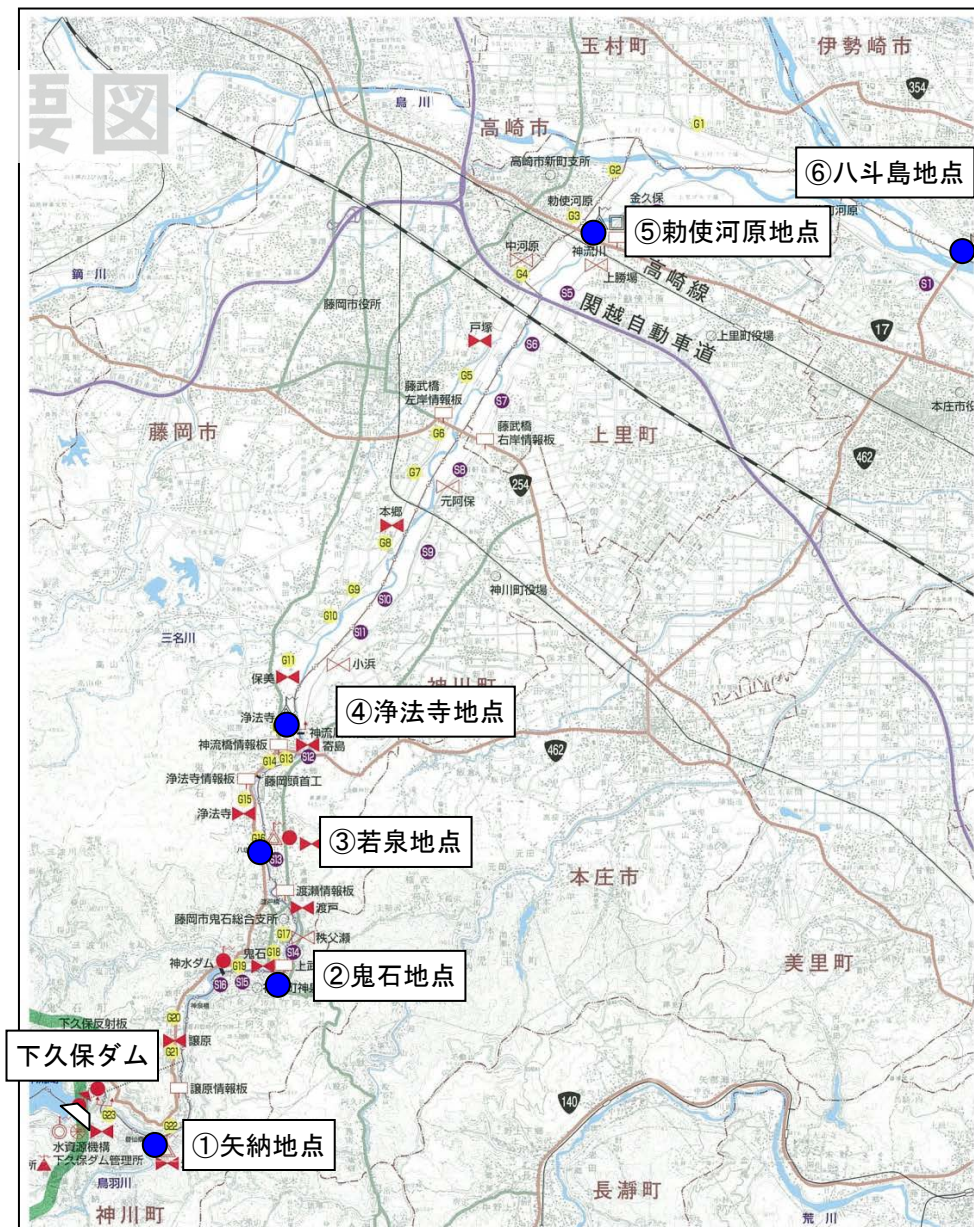
この間に下流河川の河床変動状況や水質等の調査を実施する予定です。

5. ダム下流河川の水位上昇について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の神流川では、次のとおり水位が上昇することが予想されますので注意してください。

フラッシュ放流時は河川利用者の安全確保のため、サイレン<sup>すいめい</sup>吹鳴及びスピーカ放送並びに河川巡視を行います。河川利用者の方には、河川から出ていただくことをお願いする場合がありますが、ご理解・ご協力をお願いいたします。

	水位観測地点	地点案内	河川水位上昇量	水位上昇開始～最大水位継続時刻
①	やのう 矢納地点	さんばせききょう 三波石峡下流	最大で2.5m程度上昇	午前10時～午後1時30分頃
②	おにし 鬼石地点	じょうぶ 上武橋	最大で1.0m程度上昇	午前11時～午後2時頃
③	わかいずみ 若泉地点	やしお しんすいかん 八塩温泉・神水館付近	最大で1.5m程度上昇	午前11時30分～午後2時30分頃
④	じょうぼうじ 浄法寺地点	浄法寺スポーツ公園	最大で1.0m程度上昇	午前12時～午後3時頃
⑤	てしがわら 勅使河原地点	かんながわ 国道17号神流川橋	最大で1.0m程度上昇	午後3時～午後6時頃
⑥	やったじま 八斗島地点	ばんどう 国道462号坂東大橋	最大で0.5m程度上昇	午後4時～午後7時頃



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を複製したもの(承認番号 平 23 情複、第 571 号)を転載したものである。

6. 過去のフラッシュ放流実施状況



ダムから最大約90m<sup>3</sup>/sを放流(H26.9.24)



9/24 10:00 放流開始前



9/24 13:00 最大放流時

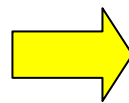


9/24 15:20 放流終了後

フラッシュ放流（平成26年9月24日）によるダム直下置土の変化



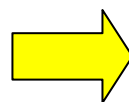
フラッシュ放流前(H23. 7. 9)



フラッシュ放流後(H23. 7. 21)



フラッシュ放流前(H23. 7. 10)



フラッシュ放流後(H23. 7. 22)

三波石峡において、<sup>されき</sup>砂礫の堆積が認められた。

しもくぼ  
下久保 ダム概要

## 1. 目的

## 1) 洪水調節

ダム地点における計画高水流量  $2,000\text{m}^3/\text{s}$  のうち  $1,500\text{m}^3/\text{s}$  の洪水調節を行い、利根川上流ダム群と相まって、下流の高水流量を低減する。

## 2) 不特定かんがい等

利根川上流ダム群とともに利根川沿岸の既成農地及び下久保ダムによって神流川沿岸の既成農地に対するかんがい用水の補給その他流水の正常な機能の維持と増進を図る。

## 3) 新規利水

東京都の上水道用水として  $12.6\text{m}^3/\text{s}$  並びに埼玉県の上水道用水として  $2.3\text{m}^3/\text{s}$  及び工業用水として  $1.1\text{m}^3/\text{s}$  合計  $16.0\text{m}^3/\text{s}$  の取水を可能とする。

## 4) 発電 (群馬県)

下久保発電所において、最大出力  $15,000\text{KW}$  (最大使用水量  $12.0\text{m}^3/\text{s}$ ) の発電を行う。

また、下久保第二発電所において、最大出力  $270\text{KW}$  (最大使用水量  $0.323\text{m}^3/\text{s}$ ) の発電を行う。

## 2. 諸元及び管理施設の概要

管理所：〒367-0313 埼玉県児玉郡神川町大字矢納 1356-3

貯水池	流域面積	322.88km <sup>2</sup>	
	湛水面積	3.27km <sup>2</sup>	
	湛水延長	11.0km	
	平常時最高貯水位	EL.296.8m	
	洪水時最高水位	EL.296.8m	
	洪水貯留準備水位	EL.283.8m	洪水期：7/1～9/30
	最低水位	EL.223.7m	
	総貯水容量	130,000,000m <sup>3</sup>	
	有効貯水容量	120,000,000m <sup>3</sup>	
ダム	河川名	利根川水系神流川	
	位置 右岸	埼玉県児玉郡神川町大字矢納	
	〃 左岸	群馬県藤岡市保美濃山	
		主ダム	補助ダム
	型式	重力式コンクリートダム	重力式コンクリートダム
	堤頂長	310.0m	295.0m
	堤高	129.0m	73.0m
	堤体積	959,171m <sup>3</sup>	233,920m <sup>3</sup>
放流設備	主放水設備	ラジアルゲート	2門
	非常用放水設備	ラジアルゲート	2門
	利水放流設備	ハウエルバンパーバルブ	2門